

1. 社会不安障害(社交不安症)について正しいのはどれか、2つ選べ。
1 注察妄想に発展する。 2 発汗とふるえを伴う。 3 パニック発作を認めない。
4 社会から疎外されていると考える。 5 他の人々から注視される状況を避ける。
a (1,4) b (2,5) c (2,3) d (2,4) e (3,4)

2. パニック発作中にみられるのはどれか、2つ選べ。
1 解離 2 徐脈 3 呼吸促迫 4 死の恐怖 5 予期不安
a (1,4) b (2,5) c (2,3) d (3,4) e (4,5)

3. ナルコレプシーの患者の訴えと考えられるのはどれか、2つ選べ。
1 「会議中に突然眠ってしまいます」 2 「足がむずむずしてよく眠れません」 3 「毎日明け方になるまで眠れません」 4 「寝入りばなに誰かに呼ばれる気がします」 5 「毎晩、眠れないのではないかと不安になります」
a (1,4) b (2,5) c (2,3) d (3,4) e (4,5)

4. 60歳の男性が、骨転移を伴う前立腺がんを患っており、持続性の疼痛があるため治療中である。疼痛は十分に制御されているが、この症状のために仕事ができないと訴えている。疼痛のために、新しい転移巣が出来ており、もうすぐ死ぬのではないかと心配になり、差し迫った死の恐怖を訴え続けている。この患者の診断名でもっとも適切なものは何か。
a パニック症 b 病気不安症 c 身体症状症 d 適応障害 e 転換性障害(変換症)

5. 65歳の女性。物忘れがひどいことを主訴に、家族に伴われて来院した。自分が置いた財布の場所を忘れて「どろぼうが家に入り、財布を盗んだ」と言ったり、夕方になると、「ここは自分の家ではない。もう家に帰らなければ」と言って、家を出ていこうとする。家族によれば、最近はやがままで短気になったという。
この患者で傷害されていないのはどれか。
a 性格 b 記憶 c 思考 d 知覚 e 見当識

6. 60歳の男性。従来は周囲に対する配慮ができていたが、最近は著しく自己中心的な言動が目立つようになったことを心配した家族に伴われて来院した。1年前から気力がなくなり、ボーっとたたずんでいることが多くなった。自室内には、数ヶ月前から収集し続けているペットボトルが山積みになっているという。最も考えられる疾患はどれか。
a Alzheimer型認知症 b Lewy小体型認知症 c 前頭側頭型認知症 d 強迫症
e 統合失調症

7. 症候とその説明の組合せで正しいのはどれか。
a 強迫観念→自分のものでない考えが勝手に浮かんでくる。 b 思考途絶→思考が不活発で考えが前に進まない。 c 支配観念→思考が外部から支配される。 d 反響言語→主題はそれないが細部にこだわる。 e 連合弛緩→関連のない観念が浮かんでまとまらない。
8. 統合失調症に特徴的な症状2つの組み合わせを選べ。
1 人前でスピーチするのが怖い。 2 自分を批判する複数の人の声が聞こえる。 3 話題が飛び、会話はまとまりを欠き、了解不能である。 4 外界と自分との間にベールがあり、周囲ものに実感が湧かない。 5 家の前に立っている男性を見てその人に狙われていると確信する。
a (1,4) b (2,5) c (2,3) d (2,4) e (3,4)
9. 睡眠薬依存の離脱症状として適当なものを2つ選べ。
1 過食 2 不安 3 強迫 4 誇大妄想 5 けいれん発作
a (1,2) b (2,3) c (2,4) d (3,4) e (2,5)
10. 覚せい剤精神病でみられるのはどれか、2つ選べ。
1 意識変容 2 通過症候群 3 逆耐性現象 4 フラッシュバック現象
5 レム(REM)睡眠行動障害
a (1,2) b (2,3) c (2,4) d (3,4) e (1,5)
11. 8歳の男児。落ち着きのなさを主訴に母親に連れられて来院した。幼児期から落ち着きのなさが認められ、遊びでも順番やルールを守ることができなかった。授業中に席を離れることがあり、家では宿題を嫌がってなかなかやらない。成績は中程度であり、身体所見に異常を認めない。
まず行うべき対応として適切なものはどれか。
a 薬物療法を導入する。 b 問題行動には厳しく叱責する。 c 教室全体が見えるように一番後ろに座らせる。 d 集中可能な持続時間を考慮して課題に取り組みさせる。 e 母親に対して大人になれば改善することを説明する。
12. 自閉症について正しいものはどれか。
a 感覚過敏を伴うことが特徴である。 b 適切な育児によって愛着は形成される。 c 1歳前後で人見知りや後追いが激しい。 d 知的障害の遅れを伴うものは約30%である。 e 母親に対して大人になれば改善することを説明する。
13. 48歳の男性。不眠を主訴に来院した。長年にわたる支店での活躍が評価され、半年前に本店に栄転した。当初は喜んだものの、環境の変化になじめず、期待に応える仕事ができないと自分を責め、終日気分が晴れず夜は一睡もできなくなった。1ヶ月前から仕事が手につかなくなり退職を申し

出たところ上司に受診を勧められた。抑うつ気分、意欲低下および全般的な興味や関心の低下がみられ、身体診察で異常所見を認めないことからうつ病と診断した。

対応として適切なのはどれか。

a 自殺については話題にしない。 b 就寝前に少量の飲酒を勧める。 c 病気の症状であることを説明する。 d すぐに前の職場に戻すように上司に勧める。 e 仕事ができない原因について上司と話し合ってもらおう。

14. 48歳の男性。不眠を主訴に来院した。6ヶ月前に自ら望んで転職し、当初は順調であったが、2ヶ月前からは気分の落ち込みと作業能力の低下とを自覚していた。最近の1ヶ月は転職したことを公開して食事もとれなくなり、不眠が次第に悪化してきたという。本日会社を早退し、自宅で遺書を用意していたところを妻に発見され受診した。

現時点の対応として適切なのはどれか、2つ選べ。

1 できるだけ早く休息を取らせる。 2 現在の職場をやめるように勧める。 3 自殺を計画したことをとがめる。 4 自殺について触れないようにする。 5 治療が必要な病気であることを説明する。

a (1,2) b (1,5) c (2,3) d (2,4) e (4,5)

15. ICU患者にみられるせん妄の正しい予防法はどれか。2つ選べ。

1 夜間睡眠が十分とれるように配慮する。 2 抗精神病薬を予防的に服用させる。 3 医療スタッフが患者との心理的接触を多くする。 4 病室内の照度を一定の明るさに保つ。 5 睡眠時間を確保させるために、ベンゾジアゼピン系睡眠薬をあらかじめ投与する。

a (1,2) b (1,3) c (2,4) d (3,4) e (2,5)

16. 疾患と治療法との組合せで正しいのはどれか、2つ選べ。

1 心気症 → 遊戯療法 2 強迫性障害 → 行動療法 3 ヒステリー → 精神分析療法
4 うつ病 → 催眠療法 5 チック → 森田療法

a (1,2) b (2,3) c (2,4) d (3,4) e (2,5)

17. 双極性障害の維持療法の治療薬として適切なものはどれか、2つ選べ。

1 バロプロ酸 2 炭酸リチウム 3 ハロペリドール 4 フェノバルビタール
5 メチルフェニデート

a (1,2) b (2,3) c (2,4) d (3,4) e (2,5)

18. 自我障害の訴えはどれか。

a 「能が溶けています」 b 「自分の考えが抜き取られます」 c 「皆が自分の悪口を言っています」
d 「食事に変なものを入れられています」 e 「何か恐ろしいことが起こりそうです」

19. 脳波検査で異常が認められるのはどれか。

1 Wilson 病 2 Creutzfeldt-Jakob 病 3 肝性昏睡 4 亜急性硬化性全脳炎(SSPE)

5 Huntington 病

a (1,2,3) b (1,2,5) c (1,3,4) d (2,3,4) e (2,4,5)

20. 21 歳女性。高校 1 年生の頃、特に誘因なく元気がなくなり、3 ヶ月休学したことがある。その際は特に治療を受けずに回復した。1 ヶ月前から、些細なことで彼氏や友人と喧嘩することが増えた。連日ショッピングに出かけ、友人に意味なくプレゼントすることも増えた。自信に満ち溢れた様子で、化粧や洋服も派手になり、彼氏に隠れて浮気をした。ここ 1 週間はほとんど眠らず、勉強にバイトにエネルギーに取り組むが、一つのことに集中できていない様子で、気分は爽快で、話し始めると止まらず、周囲からも「テンションが高すぎる」と言われるようになった。ローンを組んで高額なブランド品を買うなど浪費が激しく、「世の中の人の役に立てば」と貯金を全額寄付するなどした。普段は上機嫌だが、ちょっとしたことでイライラし、悪態をつく。心配した両親に連れられていしぶる来院した。「調子がよく、病気ではない」と立腹して話される。

この患者の治療薬として今後用いるのに適切なものを 2 つ選べ。

1 パロキセチン 2 炭酸リチウム 3 オランザピン 4 スルピリド 5 メチルフェニデート

a (1,2) b (2,3) c (2,4) d (3,4) e (1,5)

21. 7 歳の男の子。2 年生のクラスで行動や対人関係において困難を来している。いつも課題を中断し、もじもじ動き、しゃべりすぎ、自分の席から離れてしまう。友達とはいつも喧嘩になることが多く、仲間を困らせることが多い。自宅では食事の際に席に着いていることはめったにない。彼は自分の振る舞いを指摘されるときには反省を示すが、時に立腹して制御することが困難である。

適切な診断はどれか。

a 双極性障害 b 自閉スペクトラム症 c 全般不安症 d 注意欠陥・多動症

e 限局性学習症

22. 次の症状のうち、統合失調症の症状としては適切でないものはどれか。

a 自分が特別な人であると告げる声を聞いている。 b 自分だけが秘密警察組織によって尾行されていると信じている。 c 再び起こっているように感じる戦争体験のフラッシュバックを抱えている。

d 自分の考えをまとめることができず、面接の途中で回答をやめてしまう。 e 患者は腰に自動車のタイヤを巻いている。

23. 3 歳の男の子。この 4 月から 3 年保育の幼稚園に入園した。しかし、入園初日から、園バスに乗るのを嫌がり、泣きながら母親にしがみつき、離れようしない。そのため、母親も一緒にバスに乗り、何とか、幼稚園にたどり着いた。その日は一日中、母親の洋服の裾を話さず、そのため母親は仕方なくずっと一緒にいた。次の日も同じような状態で、結局この半年以上、母親と一緒に登園する毎日で

ある。家でお留守番をすることはできず、どうしてかと聞くと、「お母さんがいなくなってしまうかもしれないから」と答える。いつも一緒に母親と買い物に行っている。また、外に行くと「迷子になってしまうのではないか」、「誘拐されてしまうのではないか」、「事故に遭うのではないか」と、常に心配しているという。もっとも適切な診断は何か。

- a 限局性恐怖症
- b 自閉スペクトラム症
- c 全般不安症
- d 注意欠陥・多動症
- e 分離不安症

24. 28歳、専業主婦の女性。1週間前、自宅でいつものように一人で夕食を作っている時に、震度7の大地震が発生。古かったせいもあり、家は傾き、住めないほどのダメージを受け、本人も倒れてきた茶箆筍や冷蔵庫の下敷きとなり、近くに勤めていた夫が駆けつけるまでの2時間以上、真っ暗でガラスの飛び散った台所で恐怖に耐えてなければならなかった。助け出され、すぐに病院に運ばれ、診察や検査を受けたが、幸い大きな怪我はなく、その後より近くの体育館で夫と共に避難所生活が始まった。3日程経った頃から、度重なる余震によりあの恐怖が蘇り、過度に驚き、パニックとなってしまふようになった。また地震が起きた時にしていた料理も避けるようになり、自信もなくなり、寝ても地震の夢ですぐに起きてしまうようになったため精神科を受診した。治療によって1ヶ月以内には症状は軽快した。

もっとも適切な診断は何か。

- a 全般不安症
- b 急性ストレス障害
- c 適応障害
- d 心的外傷後ストレス障害
- e パニック症

25. 4歳の男の子。幼稚園で先生が話しかけても全くしゃべらないことから、心配した先生のアドバイスで、両親が小児科を受診した。家では両親とよくしゃべるが、祖父母や仲のいい友達ともほとんど会話がないう。この状態はすでに3ヶ月以上続いている。両親がしゃべらない理由を尋ねても、楽しくないからでなく、はっきりしない。両親は、「元々、この子は内気な子とは思ったが、幼稚園に入るまでは気づかなかった」という。

もっとも適切な診断は何か。

- a 限局性恐怖症
- b 急性ストレス障害
- c 自閉スペクトラム症
- d 心的外傷後ストレス障害
- e 選択性緘黙

26. 皮がむけ荒れた手をしている52歳の男性が、精神科医に紹介された。1日4時間を費やして熱湯と研磨洗浄剤を使って手を洗っている。彼は手が不快であることは認めているが、このやり方でなければ重病になるだろうと確信している。医学的検査において異常は指摘されていない。

もっとも適切な診断は何か。

- a 妄想性障害、身体型
- b 病気不安症
- c 強迫症
- d 強迫性パーソナリティ障害
- e 全般不安症

27. 69歳の男性。ここ最近仕事で多くの間違いをおかしていると指摘された。妻を亡くした跡に抑うつエピソードの病歴が9年前にあるが、6ヶ月後に完全に消失して再発はしていない。彼は正しい日付を述べることができないが、自分の経歴についてはとても詳しく述べるができる。自宅ではコンロの火を消し忘れて近隣に迷惑をかけたことがある。MMSEで21/30点であった。

もっとも適切な診断は何か。

a 認知症 b 軽度認知障害 c 適応障害 d うつ病 e 診断なし

28. うつ病に特徴的な訴えはどれか。

a 「考えが浮かびません」 b 「考えが頭から離れません」 c 「考えが声となって聞こえます」

d 「考えが誰かに抜き取られます」 e 「考えが他人に伝わってしまいます」

29. うつ病の小精神療法に関する「笠原の7か条」について、間違った記載は次のうちどれか。

a うつ病は病気であり、単に怠けではないことを認識してもらう。 b できる限り休養をとることが必要である。 c 抗うつ薬について少量を短時間使用する。 d 治療にはおよそ3ヶ月かかることを告げる e 自殺しないように誓約してもらう

30. 30歳、独身女性。知り合いの内科医から「是非、診てもらいたい」と半ば強引に頼まれ、診察することになった。20歳ぐらいから、胸部や腹部が痛くなり、加えて排尿時、月経時及び性交時に下腹部に痛みが走り、我慢できなくなり、会社を辞め、それ以来無職。さらに、よく下痢や嘔吐があり、その都度内科に行くが‘過敏性腸症候群’と診断されたことが1回あったが、その他の医療機関では特に異常は指摘されていない。加えて数年前からは、頭痛、尿閉、複視、嚥下困難感に悩まされ、月経不順も出現してきたが、身体疾患の根拠となる検査所見は認められない。

適切と思われる治療法はどれか、2つ選べ。

1 抗うつ薬 2 修正型電気けいれん療法 3 CBT 4 高照度光療法 5 抗精神病薬

a (1,2) b (1,3) c (2,4) d (3,4) e (2,5)

31. 21歳、独身女性。客室乗務員の仕事に就いて、1年余りの新人である。‘アトピー性皮膚炎がストレスで悪化している’とのことで、皮膚科医院から紹介となった。小児期よりアトピー性皮膚炎があり、小児科や皮膚科で外用薬を処方され、症状は軽快していた。しかし中学以降、テスト勉強で睡眠不足になると湿疹・掻痒感が悪化し、高校3年生の秋頃からはついに皮膚科からステロイドの内服薬が処方されるようになった。猛勉強の甲斐もあり、第1希望の短大に入学でき、その後の2年間はステロイドの内服はせずに、ほとんど無症状で過ごすことができた。

短大の卒業後、航空会社に就職し、憧れの客室乗務員になるべく、訓練所と社員寮を行き来するだけの生活が始まった。訓練は厳しかったが、同期入社の人にも恵まれ、無事訓練所を卒業でき、大阪に配属となった。しかし、実際の業務は訓練と大きく異なり、経験や臨機応変さが必要で、先輩に怒られる日々が続いた。加えて、元々東京育ちで文化・習慣が違うこと、関西弁に不慣れで

上手くコミュニケーションができないこと等もあり、徐々に社内での人間関係でも悩むようになった。アトピー性皮膚炎も再燃し、ステロイドの内服を再開するも症状がさらに悪化し、業務遂行不能となってしまった。

もっとも適切な診断は何か。

a 心身症 b 身体症状症 c 解離症 d うつ病 e 診断なし

32. 悪夢障害(悪夢症)でみられることの多い症状として、もっとも適切なものはどれか。

a 周期性四肢運動 b 入眠時レム睡眠 c 肥満 d カタプレキシー

e ヘモグロビン酸素飽和度の低下

33. 16歳の女子。食事に対する恐怖を訴え、家族に連れられて来院した。中学2年のとき伯母に「ぼっちゃりしている」と言われたのを契機に体型に対する関心が高まり、ダイエットを始めた。身長 165cm、体重 38kg。赤血球 320 万、Hb11.0g/dl。MRI で大脳に軽度の萎縮が見られる。

この症例にみられるのはどれか。

a 低体温 b 頻脈 c 下痢 d 脱毛 e 動作緩慢